

実習生弁護の10年と今後の取組み

技能実習制度については、従来から、国際貢献という制度目的と実態の乖離、労働関係法令違反、人権侵害、中間搾取、送出国における保証金・保証人・違約金契約といった様々な問題が指摘されてきました。

実習生弁護は、2008年、研修・技能実習制度で就労する労働者の権利を擁護するために、弁護士有志によって設立されました。2009年の入管法改正によって、新しい技能実習制度が導入されましたが、上記のような労働問題や人権問題が多数発生しました。そのような状況下で、同制度を拡大する技能実習法が、2017年11月1日に施行されました。

実習生弁護では、設立10周年という節目となる今年、創立10周年記念シンポジウムを開催いたします。シンポジウムでは、これまで実習生弁護が取り組んできた事件を振り返り、技能実習制度をおさらいした後、現場で実習生の支援にあたっている方々からご報告を頂きます。その後、パネルディスカッションにおいて、同制度の問題点が新法施行により解消されているのか検証し、また、あるべき外国人受入制度について議論します。

日時：7月14日(土)14時～16時30分

(開場13時45分) 最寄り駅：小田急線
「参宮橋」駅下車徒歩 約7分

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター
国際交流棟 国際会議室

参加費：資料代 500円(当日、受付でお支払い下さい)
資料準備の都合上、裏面FAXにて、事前申込みを
頂ければ幸いです。技能実習生の方は無料です。

プログラム

(1) 基調報告

- ① 弁護のこれまでの取組み 指宿昭一 (弁護士・実習生弁護共同代表)
- ② 技能実習制度について 鳥井一平 (移住連代表理事)

(2) 報告

- ① 岐阜アパレル 甄凱 (ケンカイ) (岐阜一般労働組合)
- ② ビルマ人実習生 ミンスイ (在日ビルマ市民労働組合)
小山正樹 (JAM)
- ③ 愛知での取組み 樽松佐一 (愛労連)
- ④ 新法の評価 旗手明 (実習生権利ネット・自由人権協会)
- ⑤ サプライチェーンの視点から 伊藤和子 (弁護士・Human Rights Now)

(3) パネルディスカッション

テーマ：新法及び実習機構の評価・検証、あるべき外国人労働者受入制度
お問合せ 樋川 雅一 (実習生弁護事務局)
TEL 049-225-2254 FAX 049-225-2174